

ぜんしゅうきょう

発行：全日本宗教用具協同組合 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-16-7 第二小林ビル2階 TEL:03-6206-0413 FAX:03-6206-0414



第36回通常総会を四国地区徳島にて開催！

新型コロナウイルス感染症が2類から5類感染症へと移行し、感染対策は個人の判断に委ねられることになりました。全宗協の通常総会も感染拡大前の対応にほぼ戻り、5月23日(火)四国地区のJRホテルクレメント徳島にて開催されました。組合員数288名に対して、出席58名、委任状出席137名、合計195名で出席率は67.7%、定款38条で定める過半数を超え、本総会は有効に成立しました。

池田理事長ご挨拶

総会に先立ちまして、マルチスライドをご覧くださいますが、周年事業の取り組みとして『全宗協物語』を2年かけて作成しました。先人たちが創り上げてきた協同組合の道標として、今後目指す祈りの未来へ向けた活動を紹介したいと思えます。(スライド上映。Youtubeで後日公開)



新型コロナウイルスが世界中に広がり、日本においても3年以上にわたり行動規制や経済の停滞が



起こり、宗教用具業界も多大なる影響を受けました。その上ロシアによる軍事侵攻が物資・物流のみならず、エネルギーの高騰、金融不安等の諸問題を山積させ、先の見通しが立たない状況を引き起こしております。そのような新しいニュースがありました。先日広島でG7サミットが開催されましたが、広島の高山副理事長のご息が作られた広

島漆芸の漆器のお椀に、岸田総理の奥様が直に漆を塗って仕上げられ、G7首脳のパートナーへのおもてなしの品として、また、広島市からの各国首脳への贈答品にも酒器が選ばれたそうです。

その1週間前には富山市と金沢市で開かれたサミット関連の教育大臣会合の引き出物として、高岡の山口久乗さんのおりんが採用されたとも伺いました。

組合メンバーの商品がこのように寄贈品として選ばれ、世界に広めていただいたという嬉しいお話がありましたので、拍手でお祝いしたいと思います。(盛大な拍手) 皆さんありがとうございます。

第36回通常総会

当日は午前より三役会、各委員会、ニューリーダー部総会、理事役員会が行われ、続いて第36回通常総会が開催されました。ご来賓として全国中小企業団体中央会

の根本建様、全宗協顧問税理士の望月博元先生にお越しいただきました。安田専務理事の司会進行で、1号議案から5号議案まで滞りなく審議され、すべて可決承認されました。総会の途中、仏壇公正取引協議会の会長就任を機に全宗協に加盟された銚建仏光堂の銚建祐治様よりご挨拶いただき、全宗協とともに情報の交換を行い、業界内を風通しの良いものとしたいとお話をいただきました。

質疑応答では、広域認定事業申請において各地方自治体での現状アンケート調査にご協力いただきました件について質問があり、保志副理事長より「広域認定申請に向けた特別準備委員会」が午前中の委員会でも立ち上げられ、令和5年度より活動を開始してゆくとの説明がなされました。

総会后、落語家であり、天台宗の僧侶でもある、露の団姫氏の講演会が「一隅を照らす」を演題に和やかに行われました。旦那様の太神楽曲芸師の豊来家大治朗氏による多彩な芸の披露もいただき、質問コーナーではお二人の出会いから、宗教の違いによる心がけなど、楽しくお話を伺いました。引き続き、両氏にも懇親会へご出席いただき、盛況のもと全行程が終了しました。

記念講演

一隅を照らす

落語家 露の団姫氏
天台宗僧侶 露の団姫氏

私が落語家になりたいと思いましたが、高校1年生の時でした。両親が非常に落語好きで、私も将来落語家になりたいなと思うようになりました。僧侶への興味は、おじいちゃんが亡くなった3歳の時に、おばあちゃんに「おじいちゃんどこへ行ってしまったの」と聞くと、「おじいちゃん死んだから、今から焼きに行くねん」というあまりにもダイレクタな言い方にショックを覚え、そこから人間は死んだ後どうい場所に行くのか、考えるようになりました。

また、中学の社会科の授業で世の中に宗教があると知り、私の求めている答えを生きたヒントが宗教にあるんじゃないかと思うようになりました。高校生になりバイト代で初めて買った本がキリスト教の聖書、その次はイスラム教のコーラン、それから神道や仏教の勉強をするうちに、心救われることもあり仏教の教えが好きになって信仰心を持つようになりました。お坊さんになりたいと思うようになったのも高校1年生の時でした。

この『信仰心』は最近見直されている心の一つで、何年前の大学の研究で信仰心があると身体や心の病気の回復スピードが速いという結果が出ています。お休みは一切なしで3年間修行しました。この内弟子修行が明け、次は比叡山へ弟子入り願に行きましたが、4年後にようやく出家できました。この比叡山の修行は大変厳しく、山奥の道場に入って朝2時から水を浴びお堂に籠って修行を続けると、ほとんどが精神的・肉体的に追い詰められ、食事が喉を通らなくなり、お坊さんの体重は平均10キロ落ちると言われていますが、一緒に修行した女性6名、男性20名が少しずつ残したものを食べているうちに、私だけ5キロ太って帰ってきました。そのまま世間に出ますと比叡山の修行が甘いと思われてしまうので、ダイエットをしてから娑婆に出なさいと、山を下りてから苦行を課せられてしまいました。

現在は、「天台宗一隅を照らす運動」の広報大使を務めさせていただいており、布教活動をしています。この『一隅を照らす』は、比叡山を開かれた伝教大師・最澄さんのお言葉で、社会の一隅にいる自分自身がまず自分の持ち場で役割を一生懸命果たし、自分自身が社会の一隅を明るく照らしましょうという意味で、一人一人がそれぞれの持ち場で輝くと社会全体が明るく照らされていきますよという教えです。

実は、この言葉には「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」と続きがあって、一隅を照らす人間こそが大切な国の宝物

これは、ある話やな思いましたが、さらに一つ上の発見をしました。仏教にはいろんな仏様がいらっしゃいますが、阿弥陀如来さんは「南無阿弥陀仏」とお念仏をお唱えしますと、どんな極悪人でも必ず極楽へ往生させてくださる有難い仏様です。実は、阿弥陀様を毎日拜んでみると、女性のお肌がきれいになるということがわかりました。ラジオからこんな声が届いてきました。「阿弥陀さんの力でお肌プルプル」。ようよう聞いたら「アミノ酸やっただけです（笑）」。



プロフィール 露の団姫 (つゆのまるこ) 1986年生まれ。高校在学中に法華経に出会い、僧侶であった初代・露の五郎兵衛が説法をおもしろおかしく話したことが落語の起源と知り、高校卒業後、その流れを汲む露の団四郎へ入門。古典落語や自作の仏教落語に取り組み、テレビ・ラジオでも活躍中。

ですよという意味があります。お坊さんの師匠に、一隅を照らす人間になるにはどうしたらいいか聞くと、「まずは自身自身の私生活を整えなさい」と言われています。

少しだけ私の私生活の話をしますと、先ほどこちらで太神楽曲芸を披露しておりました豊来家大治朗と夫婦でございます。実は大治朗キリスト教徒でして、当時結婚することで心配だったのが総本山延暦寺でしたが、比叡山では「世界の宗教平和サミット」を毎年開催しており、お互いの信仰を認め合って平和を祈っているの、仏教徒の私とクリスチャンの彼が結婚することは宗教平和の第一歩と後押ししていただきました。また、キリスト教会へ行き牧師さんへも、彼と結婚してもよろしいですかと聞くと、牧師さんが一言、「イエス（笑）。いま小学校3年生の男の子一人、子育て真っ最中ですよ。

落語家としては名人になりたいと思いませんし、お坊さんとしては自殺する人を少しでも減らしたいと、お悩み相談をしています。安心して話せて、落語で笑っていただけの場所を作ろうと決心し、2年前ようやく尼崎市に新しいお寺「道心寺」を立ち上げました。一時はコロナで住職ではなく、無職になるかという大変な状況が続いていましたが、全国からご寄進をいただき、ここまで来しました。この「道心」には悟りを求める志という意味があり、志を持ってない若い方、諦めざるを得ない方、いろんな方の志を応援したいと思い、私自身の志を体現するお寺にしたいと考えております。

令和4年度 各委員会事業報告

◆総務委員会

- ① 会報の発行 令和4年5月に倉敷で行われた第35回 通常総会の報告と、10月に東京・築地本願寺とZoomにてハイブリッド開催された研修会報告の年2回、会報『ぜんしゅうきょう』を発行した。
- ② 仏事コーディネーター試験・報告概要 試験日 令和4年11月16日(水)(令和5年11月15日予定) 受験者数 東京会場43名 + 大阪会場31名 = 74名 合格率 77% (合格者 57名)

◆広報委員会

「PRAY for (ONE)」の普及活動とともに、全宗協のシンボルブランドでもある「INORI JAPAN」の「祈り=全宗協」の周知に努めた。さらに全宗協のホームページが検索上位に来るように、生活者からのお問い合わせをQ&Aとして紹介、各地のお仏壇納品実績を掲載するなど、アクセス数、ページビューの滞在時間を延ばす工夫をした。また、4月よりホームページ・トップ画像のイメージモデルを変更、合わせてポスターを作成し、組合員企業に配付した。他に、組合員が活用できるように業界に共通する話題など、定期的に発信する仕組みの立ち上げを検討し、次年度からの運用を目指す。6月13日(月)、14日(火)2日間で開催『フューネラルビジネスフェア2022』(来場数10,153人) 8月31日(水)~9月2日(金)3日間開催の『エンディング産業展2022』(来場数12,951人) 2会場にPRAY for (ONE)としてブース出展し、PR活動を展開。令和5年3月27日(月)「祈りの日」は音声発信のPodcastの開設をし、祈りの日のPRを行った。合わせて、組合員には改めて祈り鶴の活用を提案した。PRAY for (ONE)の季刊誌『祈りを紡ぐ』の発行などで相乗効果を図る。

◆事業委員会

- ① 全国研修会 令和4年10月6日(木)、7日(金)、東京・築地本願寺とZoomによるハイブリッド方式で全国研修会を開催。「新しい祈りのあり方とその発信方法~ハイブリッドの可能性~」をテーマに、講師 臺田吉昭氏、築地本願寺 副宗務長の東森尚人氏による講演と質疑応答や、コロナ禍に取り組んだ事例をニューリーダー一部員や京都の地下鉄で採用された伝統仏具の例で紹介、深く考える研修となり、受講者からも好評を得た。本年度も全国中央会の補助を受けての開催となった。研修後には築地本願寺のさまざまな取り組みを実地見学する機会も得た。
- ② PRAY for (ONE)の後方支援



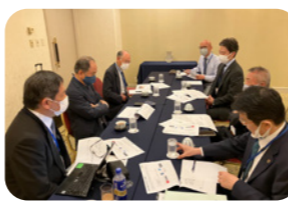
総務委員会



事業委員会



正常化委員会



広報委員会



会員増強委員会

◆正常化委員会

コロナの影響で活動は自粛したが、チラシの表示に関する討議や対応、事例の蓄積を行うなど、できる範囲で正常化への取り組みを行った。

◆会員増強委員会

令和4年度の組合員数は295名であり、とうとう300名を切ってしまった。平成29年度では350名の在籍で、毎年10人ずつ減少している状況である。コロナ禍で活動が制限されたためとはいえ、全宗協に入ればメリットがあることをアピールしなければ、加入増はない。退会の原因究明も必要である。

◆広域認定準備委員会

総務委員会の特別委員会として『広域認定申請』に向けた準備委員会を発足。



NL部総会

◆ニューリーダー一部

- ① NL部総会 令和4年5月25日 倉敷アイビースクエア
- ② 春の東京研修会 令和4年4月14日 エッサム神田ホール+Zoom開催 「これからの仏壇仏具・仏事を楽しく語る~世の中と宗教用具業界の間にある溝に架け橋を~」 講師：吉本興業 笑い飯哲夫先生 秋の大阪研修会 令和4年11月17日~18日 会場開催 「交流・ビジネス創出イベント」「藤田美術館見学」「玉初堂講演会・工場見学」
- ③ 役員会 年5回開催
- ④ その他・LINEグループ:全宗協NL部の立ち上げ・会報「ぜんしゅうきょう」(新春号)への寄稿・鎌倉新書「月刊・終活」に掲載する記事のインタビュー

徳島総会 懇親会

露の団姫さん、豊来家大治朗さん夫妻にもご臨席いただき、徳島名産品がふんだんに盛り込まれたコース料理に舌鼓を打ちながら堪能しました。中盤には恒例、今開催地の四国地区協議会長・東條隆彦氏から池田理事長へ、そして、次年度開催地となる京滋地区の吉田光宏副理事長へ『鍵』の伝達が行われました。最後には、徳島で有名な阿波踊りチーム「娯茶平」の登場により、会場は一気にお祭りムードに。阿波踊りのレクチャー後、参加者も踊りに加わり、大盛況の宴となりました。



大須演芸場で出会った瞬間
「この人と結婚する!」と、
お二人とも思ったそうです



四国地区の皆様から、京滋地区の皆様へ「鍵」の引き渡し



エクスカージョン 徳島癒しスポット巡り

幹事：森正（株）
北川辰也氏

四国八十八箇所霊場めぐりの一番札所・霊山寺をまず参拝。静かな境内で手を合わせると心穏やかになりました。そして大鳴門橋遊歩道「渦の道」を歩いて鳴門海峡を上から眺め、郷土料理店にて鯛めしの昼食、そして大塚国際美術館を鑑賞しました。約1,000点の世界名画を特殊技術で陶板に再現しており、まさに圧巻の展示でした。



一番札所
霊山寺



淡路島を臨む
大鳴門橋を背
に記念撮影



陶板のシステイーナ礼拝堂

親睦

ゴルフコンペ

優勝：立花 孝文様（有）立花仏壇店
準優勝：上林 孝哲様 ずゞや（株）
BB賞：木下 敦信様（株）もがみ

幹事：ずゞや（株）安藝礼子氏

ヤシの木に囲まれた南国ムードの「クラシックゴルフクラブ（阿波市）」で開催されました。参加者15名の皆さんは本格的な丘陵コースに挑み、和気あいあいとプレーを楽しみました。



4年ぶりのゴルフコンペ

事務局 からの お知らせ

最新版 いよいよ発売開始!!

『仏壇仏事ガイドンス ver6.0』



仏壇販売の現場で役立つ
・業界標準テキスト

全宗協組合員価格 13,200円（税込） 一般価格 16,500円（税込）ともに入金確認後送料着払いで発送
振込口座：みずほ銀行 銀座通支店（普通）2088398 口座名：全日本宗教用具協同組合

1. 当面のスケジュール

- 令和5年8月29日（火）～31日（木）
エンディング産業展 2023（東京ビッグサイト
PRAY for (ONE) 出展）
- 令和5年10月5日（木）～6日（金）
全国研修会（京都）

2. 組合員数 288名（令和5年6月30日現在）

3. 組合員関係者の訃報（令和4年12月1日～令和5年6月30日）

- 【北海道・東北地区】
（有）小柳仏壇店 代表取締役 渡部徳章様 ご尊父 渡部光二様（2月25日満88歳）
- 【関東甲信地区】
お仏壇の日本堂 代表取締役 前田平八様 ご尊父 前田平成様（4月7日享年83歳）
- 【北越地区】
笠間仏壇笠間製箔（株）代表取締役社長 笠間貴勝様（4月29日享年57歳）
- 【東海地区】
（有）迦葉 代表取締役 鈴木陽一郎様 ご尊父 鈴木義人様（1月30日享年73歳）